

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

発行2014年7月 第73号
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL03-3383-7800

防災まち歩き・マップづくりトレーナー養成講座



CO 災ボ会員が、地域や生協の活動で「防災のまち歩きとマップづくり」を、講師となってすすめられることを目的としたスキルアップ講座が2日連続で開催されました。第2期から13期までのCO 災ボ会員22名が参加して、中野の東京都生協連会館周辺のまち歩きを想定して行いました。

- 開催日時 6月13日(金)14日(土)
13:15~17:00
- 開催会場 東京都生協連会館
- 参加人数 22名

講座の内容

- 【1日目】 オリエンテーション
実習 ①コース設定
②下見
③下見のポイント
- 【2日目】 1日目の振り返り
実習 ①マップづくりのポイント
②マップづくり実践
講座を終えて・ふり振り返り交流



CO 災ボ代表
幹事大矢さん



2日間の講師、東京災害
ボランティアネットワ
ークの福田信章さん



大事なことは「目的の理解」と「事前の準備」です。
まち歩きの2つの目的は
*まちの特徴を知る
*自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の意識
♪ 楽しく取り組める雰囲気作りも忘れないで!

下見に出かけよう(1日目)



地図を見て、目標となる場所を決めて、予定のコースを設定したら下見に出発です。参加者に気づいてもらうポイントがあるかどうかをみんなで確認しながら歩きます。例えば学校や病院、防災倉庫、公園、寺社、公民館などの地域の拠点など、地図にないポイントもさがします。危険な場所を見つけるだけでなく、良いところ、災害があった後も残しておきたい場所や雰囲気も探します。

マップづくり実践 (2日目)



1日目のまち歩きで気づいた点をマップに落していきます。作成のちょっとした工夫も学びました。気に入った場所や印象も書き足して、マップ完成です。楽しくポジティブに取り組む雰囲気作りも、実際に体験できました。

事前に準備するもの

- ・大きな地図
- ・マジック（水性）
- ・ドットシールなど



マップづくりはテーマや対象者によっていろいろな形になります。子どもたちと歩く、自治会で歩くなどの例も学びました。まち歩きは、知識・技術やテクニックの習得ではなく、「気づき」を得るためのプログラムであることも確認しました。



2日間を振り返って、今の気持ちを交流しました。

「自分の身近なところでやってみたい!」「楽しくできる仲間づくりが街づくりにつながる」「何度もくり返しやる」「流れがつかめた」「ハザードマップ作りではないことを認識した」などの前向きな感想が出されました。



修了証と資料 (CD) を授与し、今後 CO 災ボ養成講座などのファシリテーターやトレーナーとしての参加をご案内して、2日間の講座を修了しました。今後は、地域や生協の活動で活かされることが大いに期待されます。

◆受講生アンケートから

【受講の動機】 災害の備えを学ぶ必要性を感じたため。自己流でまち歩きをやっていたので。知らない人にまち歩きを伝えていけると思って。スキルアップのためになると思って。

【感想】 CO 災ボって何やるの?という質問に、やっと答えられるようになった。たくさんの学びがあった。一から準備に携われる機会があればと思う。もう少し事前の準備や知識が必要。仲間と共有することが大切、一人でマップを作ってみると意外に難しいことがわかった。

【今後の活用】 近所で友だちとまち歩きしてみる。福祉に活かしたい。町会での企画提案。

【要望など】 帰宅訓練、ボランティア検定受検講座、救命講習（何度でも）をやってほしい。